

キャラクター名

ハ幡 泰河（ハチマン タイガ）

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス		ワークス	不良高校生	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	死	衝動	破壊		初期侵食率	34%
出自	義理の両親		経験	伝説	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	2	1	3			6	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			R C			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1	1	調達	2	
運転：二輪	4		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ	
インフィニティウェポン	白兵	6r+4	3	LV+7			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ	

所持品	
コネ：要人への貸し 思い出の一品	

プレイヤー名

合計装甲：	0	合計回避：	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
起源種	P	N		
雨宮鈴子	P 純愛	N 疎外感		
白銀明日香	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	8	残り財産P：	5
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ライトスピード	★	5	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果：2回行動、C値+1、1回/シナリオ								
インフィニティウェポン	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：白兵武器作成								
コンセ：ハヌマーン	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-[LV](下限7)								
一閃	★	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：全力移動後攻撃								
電光石火	3	3	メジャー	-	-	-	-	
効果：判定ダイス+[LV+1]、HP-1D10								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80	
効果：攻撃力+[LV*10]、判定ダイス-5、1回/シナリオ								
蝙蝠の耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：聴覚領域を拡大し音を聞き分ける								
万能器具	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：日用品を作り出す								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

橋口(トウコツ)  
中国神話に登場する怪物、四凶の一つとされる。  
尊大かつ頑固な性格で、荒野の中を好き勝手に暴れ回り、戦う時は退却することを知らずに死ぬまで戦う。

幼い頃に事故で両親を亡くし、父方の叔父家族に引き取られ何不自由なく過ごし、中学の途中からはZ市からN市へと引越し安アパートで一人暮らしをしている。学校をサボったり、遅刻早退常習犯だったり、ゲーセンに通ったり、喧嘩に巻き込まれたりと、素行に問題ありな点があり、かつ強面であることから一般生徒からの評価はあまり良くない。ただし本性は面倒見が良く情に厚いので、頼りにしている人も少なくない。特に中学から一緒にの生徒からは一目置かれている。が、容易に近寄ってきはしない。

2つ名として『八万殺しの虎』という名を持っており、尾ヒレがついて大変なことになる。

舎弟を名乗る者も多いのだが、そんなものを許した覚えはなく、むしろ迷惑している。彼をN市公立高校の頭にしようという者もあり、同じく頭にされようとしている相波派と勝手に対立しているらしい。当の本人たちは同じ境遇なのを互いに迷惑だと言いつつ仲。

校則違反だがバイク登校、中古のバイクを自腹で買って乗り回している。

コソコソしてる人間や、嘘をつく人間が大の嫌い。弱い人間ももっと嫌いで、逃げるの文字は辞書にない。

女子の好みは清楚系、守ってあげたい子が好き。弱い。

両親が死んだ事故一事件に、彼自身も巻き込まれておりUGNによる記憶操作で巻き込まれなかったことになっている。またその際に起源種と呼ばれるレネゲイドに感染していることが確認されていたのだが、覚醒するに至らず監視対象となっていた。

記憶の中の違和感と、誰かに監視されている様な感覚を常に抱えており、中学生の多感な時期にそれが気に食わなくなって近隣の不良学生に片っ端から喧嘩を売ってはそ度勝ってしまったことが2つ名の由来。当然八万も手にかけてはおらず、八十程度に収まっているとの本人談。

規模が大きくなり、そこそこやばい不良高校生にも勝ってしまっていたため、ヤの者に目をつけられる可能性もあつため転校してきたという背景がある。この件で義理の両親に迷惑をかけたために、N市に越してからは自分から手を出すことはほぼ無くなった。

この喧嘩時期に覚醒してしまうのではないかとUGN側はヒヤヒヤしていたらしい。その問題児が引越すという連絡を受けて、当時監視を担当していたZ市の面